

## インフルエンザ誤解?! Q&A 院長

今月もまた、新型インフルエンザの話題です。様々な話題が飛び交っていて、皆さん混乱しているようです。Q&Aの形をとって、解説していきましょう。

**Q1: 学校で新型インフルエンザとインフルエンザAが流行しているのですが。**

A1: これはある意味では誤解です。インフルエンザの迅速診断キット(検査)では、インフルエンザ(AまたはB)の診断は可能ですが、新型の診断はできません。現状ではインフルエンザAのほぼ100%が新型なので、検査でA陽性の場合には、おそらく新型と判断しているだけです。新型の確認のためには遺伝子検査(PCR)が必要ですが、現在は行われていません。つまり、完全に新型インフルエンザと断定はできないのです。今後、季節型インフルエンザ(A香港、Aソ連)が増加すると、新型の割合が下がり診断できなくなります。ちなみに、8月以降検体を提供して頂いたインフルエンザAは、すべて新型でした(東北大学との共同研究)。

**Q2: 新型インフルエンザは重症だと思のですが。**

A2: 確かにマスコミで、死亡例が逐一報告されるので、重症の意識は捨てきれないと思います。季節型インフルエンザの死亡率が0.03~0.05%と言われています。年間1000万人が罹患したとすると、死亡数は300~500人になります。新型インフルエンザ患者の正確な数はわかりませんが(7月以降約431万人:10/30読売新聞)、現在のところの死亡者は40人前後ですが、米国では小児の死亡者の増加が続き、日本でも10人前後が10歳未満です。小児の死亡の原因の多くは、脳炎・脳症、その他肺炎、心筋炎があります。多くは軽症とされていますが、合併症の無い死亡も増えているようなので油断はできません。季節型の死亡は、乳幼児と高齢者に多い特徴があります。しかし、現在のところ新型では、この年齢層の死亡はかなり少ないのです。残念ながら、理由は不明です。今後の変化を注意深く見つめる必要があります。(9月号の急を要する症状を参照)

**Q3: 微熱で元気もある新型インフルエンザがあると聞いたのですが。**

A3: インフルエンザにかかると全員が、高熱などの典型的な症状が出るとは限りません。なかには、感染しているのに症状がでないことさえあります。このような状態を不顕性感染と呼び、インフルエンザでは20~40%あると言われています。同様に、症状が軽い新型インフルエンザがあっても不思議ではありません。微熱で元気もある子どもを、わざわざインフルエンザと診断する必要はないと考えています。インフルエンザは重症になるため、自費でワクチンを受け、副作用を心配しながら抗インフルエンザ薬を使用する訳です。逆にインフルエンザがそんなに軽かったら、だれもお金を出してまでワクチンを受けないし、抗インフルエンザ薬を使う必要はないはず。

**Q4: 保育園(学校)で、検査してもらってきなさいといわれました。**

A4: これは小児科医からみたら、全くのナンセンスです。医師は検査技師ではありません。周囲の流行状況や症状から、インフルエンザの診断をします。あ

くまでも、迅速診断キットは参考です。キットの陽性率には、かなり幅があり、60~80%程度です。また、発症後の時間の経過も陽性率に関係するといわれています。家族で1人インフルエンザが確定された場合、学級閉鎖になるような流行状況では、検査無しで臨床診断だけで十分と考えています。検査がすべてと考えている親御さんに“お子さんが10人いて次々高熱が出た場合10人検査しますか”と、嫌みっぽく言います。Q3とも関係しますが、診断は、患者さんのためです。親御さん、保育園や学校の都合で検査するものではないことを忘れないでください。そして、大人のエゴで必要のない検査の苦痛を味わわせることは、罪かもしれないことに気づいてください。どうしても必要であれば、“検査してもらいなさい”ではなく、“診断してもらいなさい”だということを、しっかり認識してください。

高熱があり、ぐったりするなど具合が悪ければ、当然ながら早めの受診を心がけてください。それほどでもなくても検査が必要と考えるなら、**38°Cを超えてから、最低でも6~8時間経ってから受診を考えてください。**

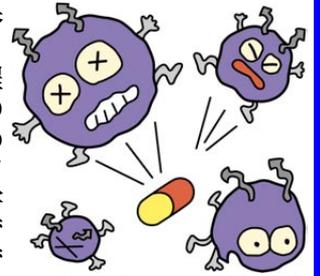
**Q5: 39°Cの高熱が出て、急患センターに行ったら解熱剤だけで返されました。**

A5: 急患センターではインフルエンザの流行の拡大に伴い、患者数がかなり増加しています。曜日や時間帯によっては、待ち時間が2時間以上のこともあるようです。Q4で、時間の経過によって検査に意味がないことを話しました。状況を判断して、急患センター等の受診は最低限にしたいものです。インフルエンザ以外の病気で2時間待って3分診療、あげくに薬の代わりにインフルエンザをもらってきたでは、何のための受診なのでしょう。

**Q6: タミフル飲みながら登園しているお子さんがいますが。(保育園から)**

A6: 他院で検査陰性にも関わらず、タミフルと抗生物質飲んでるお子さんがいます。検査陰性だけど周囲の流行状況から考えて、タミフルを処方されたようです。インフルエンザの臨床診断でタミフルを処方したのであれば、何ら問題はありません。しかし、インフルエンザと診断したのであれば、抗生物質は不要です。また、周囲の流行状況を考えたのであれば、検査は不要とも思われます。検査が陰性でも陽性でもタミフルが処方されるということは、検査で痛い思いをした意味はどこにあるのでしょうか。もう一つ重要なことは、医師は診断に責任を持つことです。インフルエンザと診断したのであれば、抗生物質は不要だし、取り扱いはインフルエンザです。このように曖昧に診断を受けたお子さんが、熱が下がってすぐタミフルを服用しながら、集団生活に戻ったとしたら。本当に怖い話です。タミフルを服用したらインフルエンザとして扱い、最低限解熱後2日を経過するまで集団生活を見合わせるのが原則です。

今回も紙面が足りなくなりました。毎回同じようなことを書きますが、新型インフルエンザに対して必要以上の心配を持たないこと、十分な情報を得て、症状の経過に注意して、慌てずに対応したいものです。



## 読者の広場

先月は4通とちょっと少ない月でした。今月も紙面が足りなくなりそうなので、宮城野区の遠藤さんからのメールを1通だけ紹介します。「こんにちわ。遠藤菜央・弘彬・加菜の母です。先日は上の子、二人に引き続き加菜の発熱でお世話になりました。土曜日に診察していただきその後、熱も落ち着いております。おっぱいの飲みも通常に戻りすっかり回復したようで、今も知らないうちに寝ていました(^\_^)電話も本当ならこちらからかけなければならないのに二度もいただき感謝しております。このままならあとは診察はいらないとお話でしたので、お伺いしません。本当にありがとうございました。何事もなければ2ヶ月検診でうかがいますのでよろしく願いいたします。」。まだ2ヶ月前の赤ちゃんだったので、こちらでも心配していました。生まれてすぐなので免疫が弱いことが多いので、小児科医にとっては3ヶ月未満の発熱は要注意です。ともかく何事も無かったので、安心しました。良かったですね。



## 予防接種 のお知らせ

### 季節型インフルエンザワクチンの接種を始めました

13歳以上は原則1回、13歳未満は2回接種です。

料金(1回) 3000円(消費税込)

少子化対策というほどではありませんが、3人目のお子さんからの接種料金は2000円(1回)にしました。今年はワクチンの供給が例年の80%しかありません。一人でも多くの子どものために接種するため、大人の方は原則お断りしています。1才未満への接種は、有効性がはっきりしていないことと、新型ワクチンでは接種しないことになったため原則行わないことにしました。もう残り少ないため、早めの予約をお願いします。

## 予防接種 のお知らせ

### 新型インフルエンザワクチンの登録を受け付けています

小児は原則2回接種です。

料金(2回) 6150円(消費税込)

1回目 3600円 2回目 2550円(ただし同一医療機関の場合)

新型インフルエンザワクチンに関しては、接種スケジュールが前倒しとなり、当院では**11月2日(月)**から接種を開始します。心臓病、腎臓病、喘息などの基礎疾患を有する患者さんを最優先とします。流行が少しで広がる前に接種したいと思っています。登録して頂いた中から優先順位が高い順に接種する予定で、接種者には連絡いたします。季節型ワクチンを希望する場合は、原則として同時接種とします。ワクチンの配付も僅かしかありませんので、指定された日時に接種します。多くの方々から希望がありますが、現時点では予約を受けることができません。必ず接種できるとの確約はできませんが、接種希望の方は登録をしてください。情報が入り次第、順次待合室に掲載していく予定です。もう少しお待ちください。不明な点は、何なりとスタッフに遠慮無く相談してください。

## 新型インフルエンザ Q&A (ワクチン編)

**Q7: インフルエンザ A に感染したけどワクチンは必要でしょうか。**

A7: 夏以降のインフルエンザは、ほとんどが新型(当院のデータでは100%)と考えていいでしょう。となると新型のワクチンは必要ありません。季節型に関しては、必要と思われる方は従来通り接種してください。

**Q8: ワクチンの同時接種とは、どういう意味でしょうか。**

A8: 同じ日の同じ時間帯に同じ場所で接種することを同時接種と呼んでいます。これはすべてのワクチンで可能で、新型と季節型インフルエンザワクチンだけではなく、MR(麻疹風しん)ワクチンとインフルエンザ等の組み合わせも可能です。当院のスタッフは、季節型と新型の同時接種をしました。

**Q9: 輸入ワクチンは副作用が強いということが心配ですが。**

A9: 輸入は2種類あって鶏卵培養と細胞培養によるものがあります。また、アジュバントとよばれる免疫補助剤が使われています。その影響がどうなのかは現時点では不明です。しかし、米国で採用されているワクチンは同じメーカーですが、アジュバントを使っていないもののようなようです。細胞培養やアジュバントは日本では始めてですが、その副作用に関しては現時点では不明です。“日本は、余計なものが入った、高い買い物をさせられたのかも?”と指摘している専門家もいます。

## お母さんクラブのご案内

### 親子で楽しむレクリエーション

11月26日(木) 14:00 福沢市民センター

当院の患者さんで川崎町在住の健康運動指導士(別名:レクリエーションインストラクター)の納屋さんに、お母さんとお子さんが、身体を動かしながら楽しめるゲーム性のある遊びです。みんなで童心に帰って、しばし時を忘れて楽しみましょう。今回は会員以外の参加も可能です。お友達を誘いあって、是非参加してください。

**11月のお知らせ**

- ・医学生実習

**11月20日(金)**

よろしくご協力をお願いします。

- ・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30 ~

栄養士担当 無料

## 10月の感染症の集計(グラフは省略)

10月も特別な感染症の流行はありません。すべてインフルエンザの陰に隠れてしまった感じです。10月のインフルエンザの患者数は**177**名で、この季節としては異常に多く、季節型が流行した3月の183人に次ぐ感染者数です。これからの流行、恐ろしい限りです。

## 在宅休日当番のお知らせ

11月22日(日)

どうぞ、ご利用ください。

## 編集後記

連日新型インフルエンザの情報で振り回されているだけでなく、インフルエンザの患者さんの増加と季節型ワクチンの接種で、忙しさに追い回されています。揚げ句に新型のワクチンの接種、この状態がいつまで続くのか不安です。この忙しさで、院長始めスタッフも、ちょっときつくなっているかもしれません。忙しさの影響かと、ちょっと大目に見てください。よろしく。



**麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』**  
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!